

省エネ型
ノンフロンシヨーカーケース
補助事業



東京都のフロン対策

2001.4 環境確保条例にフロン規制開始

- 特定物質の大気中への排出・漏出禁止
- 特定機器の整備時・廃棄時の再利用・分解処理

2002.4 フロン回収・破壊法施行

- 法に基づく回収業者の登録、指導

背景：H F C s 排出量の急増

- 2012年の都内のH F C s 排出量は、2000年度比で280%増

単位：百万 t -CO₂

	2000年度	2010年度	2012年度 (2000年度比)
CO ₂	58.9	58.7	65.9 (12.0%)
HFCs	0.7	2.0	2.6 (279.1%)
温室効果ガス 全合計	61.8	61.9	69.6 (12.6%)

背景：改正フロン法とその課題

◆改正フロン法

- 「使用の合理化」と「管理の適正化」

• 使用の合理化

- ノンフロン機器の普及促進
《課題》 高額な導入費用

• 管理の適正化

- 使用時漏えいの防止
《課題》 機器ユーザーの意識啓発

補助制度の目的

- 国内最大の市場である東京において、
ノンフロン冷凍・冷蔵機器の普及促進



- 大気中へのフロンの排出を抑制
- ノンフロン機器の認知度の向上

補助の内容（平成26年度）

① 補助対象者

- 中小事業者及び個人の事業者

② 補助対象機器

- 省エネ型ノンフロンショーケース

③ 補助条件

- 機器の買替えであること。
- 法定耐用年数が経過していること。
- ノンフロン表示を掲出（ショーケースの見やすい位置及び店舗の入口等） など

補助の内容（平成26年度）

④ 補助対象経費

- 補助対象機器の設置に係る経費
（工事費等を含む）

⑤ 補助金の額及び限度額

- 補助対象経費の 1 / 3

⑥ 申請期間

- 2014年7月1日～2015年2月27日

※ 予算規模 2億円／年（約30台分）

東京都の今後のフロン対策

- **充填回収業者関係**

- 充填業に係る審査の追加
- 立入調査等による助言・指導

- **管理者に対する周知の徹底**

- 管理者向けのパンフレット等を活用した周知
- 立入調査等による助言・指導

- **ノンフロン冷凍冷蔵機器導入に対する支援**

- **ノンフロン表示に関する検討や国との連携**

詳しいことはホームページで

東京都 フロン対策

検索

